



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2012年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

507日米通算プロ生活20年に幕

【ニューヨーク共同】

高校時代に甲子園を沸かせ、プロ野球巨人や米大リーグのヤンキースなどで強打者として活躍した松井秀喜外野手(38)が27

日夕(日本時間28日朝)、ニューヨーク市内のホテルで記者会見し、現役引退を表明した。「ゴジラ」の愛称で親しまれ日本と米国で各10年間プレー

し、日米通算507本塁打を放ったスラッガーは「最高に幸せな日々でした」と語り、20年間のプロ生活に幕を下ろした。

松井は今季の開幕を所属先が決まらないまま迎

え、4月30日にレイズとマイナー契約。5月29日にメジャー昇格したが、34試合で打率1割4分7厘、2本塁打、7打点と不振で、8月1日に自由契約となった。その後も他球団と契約することなくシーズンを終え、去就が注目されていた。

石川・星稜高3年時に夏の甲子園大会での「5打席連続敬遠」が社会的論争を呼ぶなどプロ入り

前から大きな注目を浴び、1993年にドラフト1位で巨人に入団。首位打者1度、本塁打王3度、打点王を3度獲得、セ・リーグ最優秀選手(MVP)にも3度選ばれた。10年間の通算成績は打率3割4厘、332本塁打、889打点。

2003年にヤンキースに移籍し、09年にはワールドシリーズ制覇に貢献。同シリーズのMVPに選出された。ヤンキースで7年間プレーした後にはエンゼルス、アスレチックス、レイズを渡り歩いた。通算で打率2割8分2厘、175本塁打、760打点だった。

松井秀喜 引退表明



記者会見で現役引退を表明する松井秀喜外野手(27日、ニューヨーク(共同))